

## ● 使用材料・使用器具

## 使用材料

キクスイ 15kg/角缶  
 プライマースーパーE  
 グラナダ弾性 20kg/缶  
 塗料用シンナー

## 使用器具

計量 秤  
 基層塗り リシンガン又はコテ  
 模様塗り スタッコガン又はコテ  
 模様付け PN-1ローラー（大塚刷毛製）  
 + 押えローラー

## ● 標準施工仕様

(23℃、50%RH)

| 工程         | 使用材料                                                       | 調合<br>(重量比) | 所要量<br>(kg/㎡) | 塗り<br>回数 | 工程間隔時間(hr) |              | 備考                                        |         |
|------------|------------------------------------------------------------|-------------|---------------|----------|------------|--------------|-------------------------------------------|---------|
|            |                                                            |             |               |          | 工程内        | 工程間          |                                           |         |
| 下塗り        | キクスイ プライマースーパーE                                            | 15kg<br>無希釈 | 0.1～0.19      | 1        |            | 3以上          | エアレススプレー等                                 |         |
| 基層塗り       | グラナダ弾性                                                     | 20kg        | 0.8～1.0       | 1        | －          | 6以上          | リシンガン<br>口径：4～6mm<br>吹圧：0.5～0.6MPa<br>コテ  |         |
|            | 清水                                                         | 吹付け塗り       |               |          |            |              |                                           | 1～2kg   |
|            |                                                            | コテ塗り        |               |          |            |              |                                           | 0～0.5kg |
| 模様塗り       | グラナダ弾性                                                     | 20kg        | 2.0～2.5       | 1        | －          |              | スタッコガン<br>口径：6～8mm<br>吹圧：0.4～0.6MPa<br>コテ |         |
|            | 清水                                                         |             |               |          |            |              |                                           | 0～0.5kg |
| パターン<br>付け | 配り塗り後、PN－1ローラーで斜め方向にクロスさせ、引きこし、更に、塗シンを付けた押えローラーで押え、意匠形成する。 |             |               |          |            | 追っかけ<br>模様付け | PN－1ローラー<br>＋押えローラー                       |         |
| 養生撤去       | 養生シートなどの撤去を行う。                                             |             |               |          | －          | 直後又は<br>乾燥後  |                                           |         |
| 最終養生       | 施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。                                 |             |               |          | －          | 24以上         |                                           |         |

## ● 標準施工要領

## 1. 下塗り

- ①下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ②下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

## 2. 基層塗り

- ①開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②主材に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤などを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシンガンで吹き付けるか、又はコテなどを使用し塗り付ける。

## 3. 模様塗り

- ①出隅、入隅、開口部廻などは25mm幅の装飾養生をする。また、大面積連続壁の、特に妻壁は各階などで、また長スパン壁は適度なスパンで装飾養生を取るようにする。
- ②主材は定められた模様になるように指定された清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、水の計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ③模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を配り塗りする。

## 4. パターン付け

- ①パターン付けは、模様塗りと並行して追っかけで行う。まず、模様配り塗り後、アヤメローラーで材料を引きこし、さらに追っかけで、塗シンを付けた押えローラーで押えて意匠を形成する。
- ②パターンは、特に希釈量やアヤメローラーの転がし角度などにより仕上がり感が多少異なるため、見本板などであらかじめ確認を行う。
- ③表面皮張りが早いので、直射日光など避けて施工する。
- ④模様塗り・パターン付けは上部から下部に向け施工して行く。
- ⑤標準意匠は、ランダムに花の咲いたイメージの意匠。
- ⑥押えは、強く押え過ぎないようにする。
- ⑦パターンは、壁全体のバランスも考慮して整える。

## 5. 養生撤去他

- ①養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。なお、水切部などにバリの出ている場合は、カッターナイフで取るようにする。
- ②施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。
- ③足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。

